

最北村につき

地域おこし協力隊の挑戦



さるふつギャラリー
photo by Tomoya



イチゴ栽培に向けて

協力隊 塚田治幸

2月上旬、初年度の葉物野菜の栽培が終了しました。農業の規模としては非常に小さいので、手間をかけた野菜はどれもおいしくできたとします。見渡す限り銀世界が広がる冬の猿払村で立派な野菜が採れたこと、それを新鮮な状態で届けることができたことを喜ばしく思います。また、「おいしかった」という声を頂くこともでき、とても嬉しかったです。

約5か月間の葉物野菜の栽培でしたが、野菜の病気やハウス設備のトラブルなど、苦労したことが多くありました。同時に課題も多く見つかりました。これらすべての出来事が今回の改善に繋がるので、今年度は大成功だったと思います。

2月の中旬頃からは、本格的にイチゴ栽培に向けた準備が始まりました。使うのは野菜と同じハウスですが、育て方が全く違うので設備の切り替えがとても大変です。そして3月からは、いよいよイチゴの栽培がスタートします。イチゴは葉物野菜より栽培の難易度が高いと言われていきます。さらに葉物野菜と同様、猿払村では初の試みであるため、実際にやってみないとわからないことが多くあります。それに挑戦できること自体、とても楽しみです。収穫は夏〜秋頃と少し先になりますが、皆さんに猿払産のイチゴを届けられるように頑張ります。



猿払村の魅力発信

協力隊 春日井さつき

広報や猿払村ぐらしのブログでも何度かご紹介しているインスタグラム『さるふつギャラリー』は、今年の3月までにフォロワー(ファン)1万人を目指し、昨年の5月から村内で撮影した風景写真を毎日投稿してきました。最近、写真のコメントやダイレクトメッセージをいただくことも増えてきました。子ども頃、猿払村に住んでいたという方、沖縄県に住んでいて雪を見たことがない方、新型コロナウイルスの影響で大好きな北海道旅行ができない方など、たくさんの方から自然の風景に癒されると、喜びの声をいただいています。

この記事を書いている2月上旬で、フォロワーは8500人を超え、いよいよ1万人までラストスパートです！結果をお楽しみに。



ちち牛乳と肉の館から

協力隊 飯田大志

今回は、さるふつ牛乳をご紹介！さるふつ牛乳は、濃厚でまろやかな味わいが特徴で、牛乳が苦手な私でもゴクゴク飲んで、おかわりまでしてしまうほどおいしいです。そのまま飲むのはもちろん、シチューなどの料理やプリンなどのスイーツに使うのもおすすめです。

